

文化・スポーツ戦略の策定に向けた検討状況について

1. 策定の趣旨

「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」を基本理念とする新たな基本構想に基づき、すべての県民が日常的に文化とスポーツを楽しめる元気あふれる滋賀をつくり、その魅力を新しい豊かさとして広く発信することで、県民の誇りづくりと地域活性化を図るために策定。

2. 戦略の位置づけ

新たな基本構想の重点政策 6 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造」の目指す方向の実現に向け、平成 36 年度 (2024 年度) までの 10 年間に県として戦略的に取り組む施策の指針と位置付け。

滋賀県文化振興基本方針 (平成 23 年 3 月策定)、滋賀県スポーツ推進計画 (平成 25 年 3 月策定) などの部門別計画を踏まえたもの。

3. 検討の状況

「文化・スポーツ施策推進会議」(19 所属) とその下に「東京オリンピック・パラリンピックワーキンググループ」(庁内 19 所属・11 団体等) を設置し、「2020 年東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気にするプロジェクト」と戦略について検討。

プロジェクトの具体化に向け、「事前合宿誘致・スポーツ魅力発信」、「東京オリンピック・パラリンピック文化交流」、「観光誘客・おもてなし環境整備」の 3 つのプロジェクトチームを設置し、今後さらに検討予定。

【経過と予定】

平成 26 年 5 月 2 日	文化・スポーツ施策推進会議 第 1 回会議開催
6 月～9 月	東京オリンピック・パラリンピックワーキンググループ開催 (3 回)
10 月 17 日	文化・スポーツ施策推進会議 第 2 回会議開催
11 月 5 日	「2020 年東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気にするプロジェクト」公表
平成 27 年 1 月 14 日	事前合宿誘致・スポーツ魅力発信 P T、東京オリンピック・パラリンピック文化交流 P T 第 1 回会議開催
2 月 6 日	文化・スポーツ施策推進会議 第 3 回会議開催
2 月 12 日	県議会常任委員会に策定に向けた検討状況を報告
2 月 25 日	文化・スポーツ施策推進会議 第 4 回会議開催 (予定)
3 月上旬	県議会常任委員会に戦略 (案) を報告後、年度内に策定

4. 戦略の骨子 (案)

第 1 章 戦略の考え方

- 1) 趣旨
- 2) 目指す方向と平成 36 年 (2024 年) の滋賀の姿
- 3) 戦略の期間

第 2 章 戦略

- 1) 東京オリンピック・パラリンピックで元気な滋賀づくり
- 2) 地域を元気にする文化振興と「美の滋賀」づくり
- 3) 県民が元気になるスポーツ振興と国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催

第 3 章 推進体制

- 1) 推進体制の整備
- 2) 市町・企業・大学・団体等との連携・協働
- 3) 進捗管理

新しい滋賀の魅力をつくる文化・スポーツ戦略 骨子(案)

【戦略の期間】平成27年度（2015年度）～平成36年度（2024年度）

【策定の趣旨】

基本構想に基づき、すべての県民が日常的に文化とスポーツを楽しむことのできる元気あふれる滋賀をつくり、その魅力を新しい豊かさとして広く発信することで、本格的な人口減少社会の到来を見据えた県民の誇りづくりと地域活性化を図ります。

目指す方向 「文化とスポーツの力」を活かして

- ・楽しさいっぱいのおもてなしの滋賀！
- ・新しい滋賀の魅力を発信！
- ・人と人がつながる滋賀！

平成36年（2024年）の滋賀の姿

1. すべての県民が日常的に文化やスポーツの「する」「みる」「支える」に参画しています。
2. 新しい滋賀の魅力となる文化やスポーツの場（施設・イベント）が定着しています。
3. 滋賀の文化やスポーツを楽しむ国内外からの来訪者が増えて地域が活性化しています。

平成30年度
(2018年度)

「世界遺産」
「日本遺産」
登録推進

外国人旅行者の観光誘客
・おもてなし環境の整備

滋賀の特色ある
文化プログラムの発信と
世界の文化との交流促進

滋賀ゆかりの
トップアスリート等と県民との
交流機会の創出

東京オリンピック・パラリンピック
事前合宿やラグビー・ワールドカップ
キャンプ等の誘致

戦略1 東京オリンピック・
パラリンピックで
元気な滋賀づくり

琵琶湖博物館の
リニューアルによる
発信機能の強化

「美の滋賀」の拠点となる
新生美術館整備

アール・ブリュット
魅力発信

「美の滋賀」づくりの
新たな展開

世界へ羽ばたく！
未来のアーティストの育成

戦略2 地域を元気にする文化振興と
「美の滋賀」づくり

プロスポーツとの連携等
による地域活性化

身近にスポーツを楽しめる
環境の整備

国民体育大会と
全国障害者スポーツ大会
の成功に向けた準備

関西ワールドマスタースゲームズ
2021開催準備と
生涯スポーツの振興

障害者スポーツの振興

競技力向上と滋賀から世界を
目指すトップアスリートの育成

戦略3 県民が元気になるスポーツ振興と
県民総参加による国体・全国障害者
スポーツ大会の開催

【推進体制】推進体制の整備、市町・企業・大学・団体等との連携、協働による推進管理

2020年東京オリンピック・パラリンピックで 滋賀を元気にするプロジェクト <概要>

平成26年10月17日
東京オリンピック・
パラリンピック
WG提案

趣旨

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を滋賀に取り込み、「文化とスポーツの力」を活かして、すべての県民が日常的に文化やスポーツの「する」「みる」「支える」に参加している元気な滋賀を創造し、本県の新しい魅力として発信するためのプロジェクト。

位置づけ

元気な滋賀づくりの実現に向けて、県と市町や関係団体が連携しながら取り組むべきプロジェクトとして、東京オリンピック・パラリンピックワーキンググループ（庁内19所属、庁外11機関・団体）から提案するもの。

プロジェクト

1. スポーツの振興

(1)世界で活躍する滋賀の
トップアスリートの育成・強化

(2)東京オリンピック・パラリン
ピック事前合宿等の誘致

- ア 誘致活動の展開
- イ 湖上（水上）スポーツのPRと環境整備
- ウ 2019年ラグビーワールドカップ日本大会のキャンプ地の検討
- エ ネットワークの構築とノウハウの蓄積
- オ 事前合宿施設のリストアップ
- カ 世界のトップアスリートと県民の交流機会の提供

(3)パラリンピック等に向けた
障害者スポーツの振興

- ア 滋賀における障害者スポーツの現状把握
- イ 次世代アスリートの発掘・育成・支援

(4)東京オリンピック・パラリン
ピック等を応援する機運醸成と環境整備

- ア ボランティアの養成・支援
- イ 本県ゆかりのオリンピック・パラリンピ
アンの活躍紹介
- ウ 誰もが身近な地域でスポーツを楽しめる
環境づくり

2. 観光誘客と おもてなし

(1)外国人旅行者の誘致と
ブランド発信

- ア 滋賀の国際的なイメージの発信
と誘客
- イ 滋賀・びわ湖ブランドの魅力
発信

(2)おもてなし環境の整備

- ア 多言語対応とガイド環境整備
- イ 土産品や免税店、飲食サービスの
充実
- ウ Wi-Fi環境の整備
- エ 外国人旅行者への理解促進と
歓迎する機運の醸成

3. 文化プログラ ムの展開

(1)誰もが文化芸術に親しむ
環境の整備

- ア 子どもの頃から文化芸術に親しむ
環境づくり
- イ 若手芸術家の育成・支援
- ウ 障害者の文化芸術活動の振興
- エ 長期的に文化芸術活動を推進する
組織の検討

(2)特色ある文化プログラ
ムの展開

- ア 滋賀の強みを生かした文化の発信
- イ 「美の滋賀」づくりの新たな展開
- ウ 新生美術館（現 近代美術館）
・滋賀で大規模な芸術祭を開催
- エ びわ湖ホール
・オリンピック会場等で歓迎公演
- オ 琵琶湖博物館
・首都圏で多言語対応の移動博物館
を開催
- カ 陶芸の森
・国別やきものワークショップ開催
- キ 安土城考古博物館
・近江・安土と世界の関わりを紹介
する展覧会を開催
- ク 滋賀ゆかりのアーティストや
団体による伝統文化・芸能等の
披露 など

4. 関係事業・機関との連携および推進体制

- (1) 市町・団体等との連携
- (2) 国・東京オリンピック・パラリンピック組織委員会等との連携・情報収集
- (3) 県の推進体制：ワーキンググループを構成する所属・機関・団体が中核となって、関連する施策・事業を効率的・効果的に推進。